

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	健康なると21 推進事業		担当部署	健康福祉部 健康づくり課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	健康増進法、健康日本21(第2次)	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 17 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	1	健康増進計画「健康なると21」の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	平成17年に策定した健康増進計画「健康なると21」に基づき、肥満予防やたばこ対策等を中心に、市民参加型のワークショップの開催等計画推進のための取組みを継続し、市民の健康度をアップさせる。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		前々年度の健康寿命の男女の平均値	80.0	80.0	80.0	80.0	80	歳

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市民参加型のワークショップを開催し、市民の意見を聴取したり、ワークショップのメンバーの所属する団体それぞれに積極的に取り組みをすすめてもらえるように支援をした。「健康なると21(第二次)」計画に沿って取り組みを継続していくことを確認した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ワークショップの開催回数	1	1	1	1	回	
	2	ワークショップの参加人数	26	15	29	29	29	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	前々年度の健康寿命の男女の平均値		79.8	79.6	-	-	-	歳
	目標達成率(実績/目標)			99.5	-	-	-	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		621	411	310	310	310	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	142	108	112	112	112	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	159	124	124	124	
		一般財源	479	144	74	74	74	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,303	1,303	1,303	1,303	1,303	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		1,924	1,714	1,613	1,613	1,613	千円	

【事務事業名:健康なると21 推進事業】

◎平成26年の実施状況(DO')

現在の実施状況	平成24年度に策定された、「健康なると21(第2次)」計画を推進していく。アクションプランをもとに、すべてのライフステージにおける肥満予防対策を充実させていく。 平成20年度に作成した肥満予防ファイルの改訂、充実を図り、市民に積極的に活用してもらうことができるようにPRをしていく。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄	
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策「健康・医療対策の推進」の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄	
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業対象は適切である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。	
3.効率性の評価		理由等所見欄		
8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	全年齢に対して、肥満予防対策が重要であるが、取り組みを勧めるにあたっては、対象者を絞り込んだ対応を検討することが必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか	<input style="width: 100%;" type="text"/>			